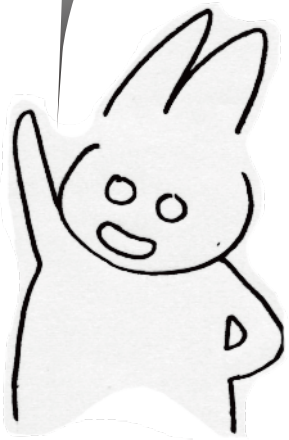
救護所あり☑



のたろんフェア 2014

小さい子からおじいちゃんまで参加する『のたろんフェア』は、万が一の事故に備えて『救護所』が設けられるんだペリー♪

そこで活躍してくれるのが、救護の専門家たち。力強い味方なんだペリー♪

『のたろんフェア』はたくさんの人たちで支えられているんですねオグ～♪

『救護所』運営団体

赤十字防災ボランティア第3ブロック
横須賀市青年赤十字奉仕団
横須賀市救急・防災サークル

75 団体 以上！

横須賀の市民公益活動団体による活動紹介・交流イベント

のたろんフェア 2014

開催日 2014. 2/8 土・9 日
am 10:00 ～ pm 4:00
@ 横須賀市立市民活動サポートセンター

『のたろんフェア』は、福祉や環境保全、まちづくりなど、様々な内容の市民活動を知ることができるイベントです。「パネル展示」「活動紹介」、「体験コーナー」では気軽に活動にふれることができます。「フリーマーケット」では手作りの雑貨や食べもの飲みものを販売します。売上は団体の活動資金として市民活動に活かされます。ショッパーズプラザ2階センターステージでは、市民活動団体によるパフォーマンスのほか、人気の【現場キャラクター】が大集合します！

Pick Up　講演　東日本大震災支援

1日目 『あの日と、今の南三陸』

南三陸町立歌津中学校 前校長
阿部友昭さん

東日本大震災のとき、避難所となった学校の体育館で子どもたちと共にした避難生活、その中で感じた教育の役目とは。

2日目 『福島 立入禁止区域の家畜を見守る』

ＮＰＯ法人「がんばる福島」

福島第１原発の事故で立ち入り禁止となった警戒区域の富岡町に留まり、犬や猫、牛など動物の保護活動、牛舎から逃げ出した牛を管理する松村直登さんの活動とは。

開催前のイベント

1/25 土　プレイベント

ショッパーズプラザ２階　センターステージ
10:15 ～ 16:00

歌あり踊りあり。スカリン、スカレー、のたろんも集合

ショッピングセンター「ショッパーズプラザ」のステージを貸し切り、よこすかの市民活動団体がクイズやマジックショー、歌や踊りを披露します。

2/1 土　クリーン大作戦

市民活動サポートセンター周辺及び汐入駅周辺
10:00 ～ 12:00

近隣の皆様への感謝をこめて、PR 清掃活動

サポートセンター周辺を清掃しながら、のたろんフェアのＰＲもしちゃうのが『クリーン大作戦』！参加団体による『のたろんフェア』を盛り上げる楽しいイベントのひとつです。

募集　運営ボランティア

『のたろんフェア 2014』では、ボランティアスタッフを募集しています。

- 実行委員と共に分科会で活躍してくださる方。
- 屋内、屋外の会場設営・撤収・清掃作業
- 会場案内（チラシ配布、来場者案内）
- 企画運営（交流会、スタンプラリー案内、景品交換）

※交通費、昼食費は、自己負担になります。

対象は高校生以上、場所は「のたろんフェア」会場です。フェアの前日と当日の可能な時間帯で参加できます。

『のたろんフェア』の情報は・・
http://yokosuka-supportcenter.jp/ntl/
“のたろんジャーナル” で検索

!? よこすかの 現場キャラ いつもより大集合 !?

ひと ～市民活動を支える人たち～

NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ キッズポケット　小室　卓重さん

久里浜の拠点の扉を開けて保育室フロアに上がると、気さくな華やかさで迎えてくれた。キッズポケット代表の小室卓重さんにお話を伺った。

日本の高度経済成長期に、三崎の呉服屋の長女として生まれる。子どもの頃は、内気だった。それでも、ものを書くのが好きな母の影響や、先生にすすめられたこともあって、朗読が好きだった。読書などをして静かに過ごす“ケの日”、そして、“ハレの日”～地元海南神社のお祭りがとても楽しみだった。

高校へ入ると友だちに誘われ生徒会の役員になった。大学は、家から通えるところ、児童文学好きなことから、関東学院短大の幼児教育科へ入学。卒業が近づいたころ、人から言われ、大人になりきれない自分自身に気づき、保育士ではなく一般企業への道を選んだ。飛び込みの営業、工場やオフィスの事務、ワークステーション講座の講師、スーパーのレジうちまで、いろいろな仕事をこなした。時はバブル経済まっただ中、楽しい思い出も多いという。

工場勤務していたとき、今のご主人と背中合わせの席で仕事をしていたのが縁で結婚、出産を機に専業主婦になった。子供が２歳になった頃、生活クラブ生協に入った。社宅暮らしから、追浜のマンションに移り住んだときは、生協を続けたいことから、「飛び込み営業」をして自ら家庭班を組織、役員を引き受けた。

2000 年、生活クラブ生協のつながりから、キッズポケットの設立に参加。数年を経て３代目の代表に就任した。

自分自身が子育てに悩んでいた経験から「今、子育てしてる人たちに、０～３歳までのとてもかわいい時期を、毎日かわいいと思って暮らしてほしい。」という思いが強い。

これからの活動の展望は、おもちゃコンサルタントという資格をもっていることもあって、キッズポケットをベースに、おもちゃを活用した活動をしたり、また、障がいのあるお子さんの居場所づくりができたらいいなと話してくれた。

キッズポケットに参加するのと同じ頃、市の障がい児通園施設の支援員に応募、その後、資格をかわれ保育士をしている。途中、施設が市営から指定管理になったときは、入社試験を受けて職員として採用された。運営が変わった時、同じように保育士を続けた職場仲間の、保育についての情熱に強い刺激を受けるという。

「幼児教育科を目指した動機は、今では思い出せないくらいだけど、保育士としてのその後はよかった。周りの人に恵まれた気がする。」

「保育士の資格を取ってから 20 年間遠回りをしてきたけれど、いろいろな仕事をしてきたおかげで、今結構役に立っているんです。人生、無駄ってないな、と思います。」

前向きで、人への感謝の気持ちが強い小室さん。その天性の感覚が、経験と経験、人と人とを結びつけて、市民活動の糧になっていると感じた。

（はこざき）

キッズポケットは一時預かりの子育て支援活動を行っています。自分の体験から学んだことを生かし、子どもにとっても、親にとっても、より身近なサポーターとして活動しています。久里浜の夫婦橋の近くの拠点での一時保育と自宅に訪問する派遣保育を行っています。詳しいことは、046-843-8800　にお問い合わせください。

not alone　not alone　not alone

ひくてあまたのお父さんプロジェクト

（横須賀市市民協働推進の集い）

2014 年３月 15 日（土）13:00～15:00
@ヴェルク横須賀

講演とＮＰＯ紹介で、定年退職後のお父さんを地域に導きます。多くの地域活動団体があなたの力を必要としています。悠々自適なんてまだ早い！！これからの人生、横須賀で力を尽くしてみませんか！

お問い合わせは　横須賀市立市民活動サポートセンター
TEL　046-828-3130

講演　「あなたの知らない横須賀ヒストリア」
講師：山本詔一さん（郷土史家）

同時開催！（2014 年３月）
『地域での市民活動の体験』ができます。
横須賀のあちこちで、地域での活動団体があなたを待っています！

のたろんの

パソコン・着やすめ

それは ひみつ デス ♥

だれだって秘密にしておきたいものってあるよね。

使ってみようか

Internet Explorer **InPrivate**

ヒント Ficebook やツイッターを
家のパソコン以外から見る場合にいいね

Ctrl + Shift + P

InPrivate を使うと、いろんな記憶が
ブラウザーを閉じると削除してくれます。

ためしてみてね♪

※『InPrivate』は WindowsOS Internet Explorer8 に対応しています。

まどろみ

最近コミュニティセンター等での講座に六十代前半の男性参加者が多くなったこと、私が先日受講を終えた三つの講座のうち一つは、男性が半数を越え二つは男女同数。講座にもよるが、男性の参加者が年々増えてきている。これは団塊の世代の男性退職者が多くなったこと、また、長い間会社人間だった男性が、地域に溶け込み始め、生涯学習等に目覚めてきた。先日ふとこんなことに思いを巡らしながらバスを待った。

かれこれ十五分ほど遅れてきたバスに乗り込むと、以前ある講座で一緒になったY氏と偶然隣り合わせた。互いに驚きながら近況を話した。Y氏は今、総合病院で車椅子を押すボランティアをしていること。それまでは家で何もすることがなく、一日中顔を合わす奥さんから、ことごとく文句を言われ、口げんかにもなった。悶々とした日々の中、ある講座でボランティアの存在を知って、車椅子を押すようになった。

ボランティアに参加して良かったのは、何より自分の居場所が見つかったこと。自分を必要としてくれる人達が待っている、そう思うと頑張れる。

「こんなうれしいことはないねえ、ボランティアは自分のためだよ」とY氏はそう残して、にこやかにバスを降りて行った。ほのぼのとした後ろ姿に、心から応援した。

（田中）

********** サポセンtopicsトピックス

できました サポセンのリーフレット

横須賀市市民活動サポートセンター施設案内のリーフレットができました。A4 サイズ、3 つ折りのコンパクトサイズです。初めての人でもサポートセンターの使い方が解るよう、なるべくシンプルな内容にしました。表紙の“のたろん”は「あしなみ」という団体の中林千明さんが描いてくれました。

「市民活動？なにそれ？」「サポートセンター？そんなところあるの？」と、ひとりでも多くの人にリーフレットを見てもらって、市民活動に興味を持ってもらいたいです。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

のたろんジャーナル

◆サポセン発信情報（カメラ付き携帯で読み取れます）
◆E メール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろん Web」は“のたろん”で検索♪ のたろん 検索

情報誌「のたろん」新春号（通巻 57 号）2014 年 1 月 1 日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMCA コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩 1 分）
TEL 046-828-3130
FAX 046-828-3132
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用表のご記入をお願いします。

編集ボランティア／はこざき・たなか・みずたに　スタッフ／ぬまさき・のぎむら